

# 区ビジョン基本方針 西区

## ◆ 区の将来像

都市と農村が共生する、うるおいの居住環境と優れた学術環境に育まれるまち

## ◆ 区の担う役割

- 都市部と農村部が一体となっている区の特性を活かし、都市と農村の相互交流を推進し、田園型政令市のパイロット役を担います。
- 新潟大学、新潟国際情報大学など、多数の学術研究機関が立地していることから、研究開発機能の中核拠点としての役割を担います。
- 佐潟・海岸など、豊かな自然環境と幹線道路・鉄道などの交通の利便性の両方を併せもつ地域の特性を活かし、環境に配慮し、自然を満喫できる憩いの場を提供する機能を担うとともに、快適な居住機能を担います。
- 利便性の高い交通網を活かし、流通関連機能を担います。

## ◆ 目指す区のすがた

### 《すべての区民にやさしいまち》

○すべての区民が個性・能力を発揮し、安心して生活でき、だれもが暮らしやすいまちを目指します。

### 《都市と農村が共存するまち》

○本市を代表するブランド農産物を産出するなど、高収益農業を推進します。また、都市と農村がバランスよく共存する、環境にやさしいうるおいのまちを目指します。

### 《学術と文化のまち》

○産学官民が連携して、地域性を活かした研究を積み重ねることで、本市のまちづくりをより豊かにする有益な情報を発信していくまちを目指します。また、地域のリーダーや未来の担い手である子どもたちなどが育つ、学官の連携を活かした地域特性のある生涯学習活動を進めるまちを目指します。

### 《海辺とラムサールのまち》

- ラムサール条約湿地である佐潟など、美しい水辺の保全を図りながら、人と自然が豊かにふれあい、やすらぎを感じられるまちを目指します。
- 夕日の美しい海岸部においては、砂丘地や松林の保全に努めるとともに、マリンスポーツなど海洋性レクリエーションの好適地として海水浴場をはじめとした海浜空間を整備し、都市に調和する自然豊かなまちを目指します。

### 《優れた居住環境のまち》

○JRや幹線道路などの交通の利便性のさらなる向上を図るほか、環境対策や災害対策を進め、安心して安全で快適に住むことのできるまちを目指します。

## ◆まちづくりに向けた施策の方向

### (1) すべての区民にやさしいまちづくり

#### ① だれもが暮らしやすいまちづくりの推進

区民一人ひとりが協力し合い、障がい者や高齢者なども積極的に社会参加できる、人にやさしい福祉に配慮したまちづくりを進めます。

区の宝である子どもたちの安全を守り、健やかな心を育てる環境づくりを進めます。

### (2) 都市と農村の共存

#### ① 都市部と農村部の交流の推進

安心・安全な地場農産物を、地元消費者に対し積極的に提供する機会の拡大に努め、消費拡大と食育の推進を図ります。また、特色ある農産物や特徴的な景観を活かし、都市と農村との交流を進め、相互理解を深めます。

#### ② 農産物のブランドイメージの確立

特産のくろさき茶豆などの農産物の振興と地元や全国の消費者へのPRに努め、全国ブランド化を図ることにより、区への誇りや愛着を高めます。

#### ③ 商工業の振興

赤塚大根などの地場農産物を使った加工食品の開発や地産地消を進めるとともに、商店街の活性化により、活気のあるまちづくりを進めます。

### (3) 学術と文化のまちづくりの推進

#### ① 学官と地域の連携推進

新潟大学・新潟国際情報大学などとの連携をより一層推進し、学官と地域住民が一体となった生涯学習活動を進めます。

#### ② 文化財に親しむゾーンづくり

黒埼地区に埋蔵文化財の保管・展示・活用施設を整備します。また、同敷地内に古い民家を活用した民俗資料の展示施設を移築し、埋蔵文化財と民俗資料を一体的に活用して楽しめる空間を創出します。

#### ③ 地域ぐるみの教育活動の推進

地域課題解決に取り組むコミュニティ協議会などの団体、学校・社会教育団体及び住民と連携し、地域ぐるみの教育活動を推進します。

## (4) 自然環境の保全と活用

### ① 河川・海岸の保全と活用

河川の汚濁防止や水害対策，海岸侵食の防止対策を推進します。また，松くい虫の防除などを実施し，貴重な緑地空間である保安林の機能増進を図ります。

海水浴はもとより，散策，休憩，イベント，レクリエーションの場として，だれもが集い憩える海浜空間の創出を図ります。

### ② 佐潟などの保全と活用

ラムサール条約湿地である佐潟の自然環境を計画的に保全し，賢明な利用を図るため，各種調査などを継続実施し，基礎情報の蓄積や市民啓発を促進します。

## (5) 快適な住環境

### ① 公園の整備

市民が運動やレクリエーションを楽しめる空間として，黒埼地区の運動公園整備や赤塚埋立処分地跡地を利用した総合的な公園整備を行うなど，市民に憩いの場を提供します。

### ② 防災拠点の機能強化

平成 19 年度新設の消防署を西区の防災コミュニティの拠点と位置づけ，区民との協働による地域の防災力の強化を推進し，災害の未然防止や災害時における被害の極限防止に取り組めます。

## (6) 交通の利便性の向上

### ① 交通の利便性の向上

黒埼スマートインターチェンジの常設化に伴う付近道路網の整備による，高速道路の利用促進や，国道 402 号バイパスや地域を南北に貫く道路など，利便性の高い道路の整備を進めます。また，駅周辺整備などにより，鉄道の利便性及び安全性の向上とバス路線とのアクセス機能の向上を図り，環境にやさしい交通体系を整備します。

区役所・病院などの公共施設が利用しやすい，公共交通網の整備を図ります。

公共施設配置図（西区）

